

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年十二月度 入選句（投稿総数二千四百五十三句・一般投句数七百三十句）

特選

手をさすりこたつの中に点字読み

大垣市

伊藤 さとり

先日盲目の方の俳句教室を行った折に出された句である。お一人お一人に付添いの方が何くれとなくお世話をし、俳句も点字を直して漢字になっていました。今はストーブで室も暖かです。「手をさすり」が「層寒さを表現しており景が伝ってきます。とても秀句です。

退院の手を引く父に冬帽子

大垣市

片山 洋紅

私の好きな句です。さりげなく詠まれ、すつと心に入ってくる句です。父は娘が大好きです。きつと手を引かれとても嬉しかったと思います。「冬帽子」が良いです。

寄せ鍋やよもやま話湯気が消す

大垣市

坪井 克枝

寒い夜は鍋がいいですね。寒い外より帰り家族で囲む鍋、湯気が一面にのぼり今日のうれしかった事、楽しかった事それぞれに話をし、それを湯気が皆包み消してゆく。何ともほのぼのとした一刻です。佳句です。

秀逸

奔放な流れに軋む芋水車

大垣市

棚橋 みさを

掃き寄すも手ごたへ軽き枯葉かな

不破郡垂井町

小畑 美智子

なみなみと枅にふくれし今年酒

大垣市

伊藤 英司

雪吊りに若衆の声縄弾む

大垣市

白井 秀子

柿の実がからすを睨み真っ赤っか

大垣市

川上 文子

幸せを逃さぬための目貼りかな

福井県福井市

三ツ山 ひろし

着ぶくれし夫押す吾も着ぶくれて

養老郡養老町

田中 秀子

百円で山ほど願う初詣

大垣市

金森 和代

包む掌も包まるる掌もクリスマス

大垣市

川瀬 幸子

ごめんねと言へず花野の風に佇つ

静岡県静岡市

内藤 知

入選

山茶花の白より暮るる庫裡の庭
日向ぼこ雲の流れに独言
湧く水に風生まれけり冬日和
甘からむ鳥が味見の柿を剥く
流れゆく色のかけらよ冬紅葉
瓶に挿す今宵のための芒かな
指貫のゆるむ小春の糸通す
ままごとの砂のケーキに散紅葉
ママの風邪ティッシュ一枚渡しをり
朝市の葱の土まで買ひにけり

愛知県名古屋市	舘野 茂子
大垣市	河合 秋信
愛知県犬山市	酒井 とし子
大垣市	後藤 ひかる
養老郡養老町	高木 美保
大垣市	町野 眞佐子
大垣市	中山 あや子
揖斐郡大野町	藤田 涼子
大垣市	傍島 隆
大垣市	矢橋 郁子

入選

外堀の桜もみじや舟に散る
色深ししのびよる冬芭蕉の地
神の留守鈍色深む近江かな
枯野バス少女ことりと本落す
みぎひだり風が分け入る芒原
炉火洩るる道より低き脇本陣
咲ききつて疲れてきたる菊人形
濡れ落葉川面に写る朱い橋
木の温み満たし工房木曾は冬
語部に桜櫓燃ゆ波郷の忌
朝寒やそっと抱きしむ膝小僧

愛知県犬山市	鵜飼 悠
愛知県犬山市	田口 弘
安八郡神戸町	澤崎 和子
東京都世田谷区	関戸 信治
大垣市	加藤 祐子
大垣市	野村 多佳子
大垣市	末守 節子
大垣市	小川 勝子
大垣市	田中 雅子
大垣市	大西 誠一
三重県津市	野田 三枝子

選者吟

日だまりに寒菊やぶれ傘さして

美代子